

千葉市総合交通政策に基づく「第3次施策の推進計画」(案)に対する意見の概要と市の考え方

No.	項目		意見の概要	市の考え方	修正
	施策No.	施策名			
1	<p>施策No. 23</p> <p>施策No. 24</p>	<p>「鉄道における混雑率の緩和促進」</p> <p>「鉄道の東京及び房総方面などへのアクセス性の向上促進」</p>	<p>JR外房線内において乗客数の多い、鎌取駅・土気駅の混雑緩和のため、現在の誉田駅始発の電車は、すべて発着可能な茂原駅または上総一ノ宮駅まで延長運転すべきである。</p> <p>京葉線・りんかい線の相互直通運転及び外房線直通運転のアクセス向上と緑区民の生活幹線鉄道確保、また混雑の緩和のため、大網駅4番線ホームの10両編成（現在6両編成）が停車できるホームの新設を要望する。10両編成が可能になれば、大網駅からの発着により緑区内の混雑緩和が図られ、10両編成ダイヤが可能になり、朝昼夕夜最終電車繰り上げも可能になりアクセス向上となる。</p>	<p>本計画では交通ネットワークの広域公共交通を形成するため、混雑率の緩和及び東京ならびに房総方面などへのアクセス向上を目的とし、京葉線・りんかい線の相互直通運転の促進と京葉線（市川塩浜～新木場）の複々線化を主要な取り組みとして位置付けています。</p> <p>なお、個々の鉄道における混雑率の緩和や、鉄道の東京及び房総方面などのアクセス性の向上に関しては、毎年、千葉県JR線複々線化等促進期成同盟を通じて沿線自治体等と連携し、鉄道事業者に対して要望活動を実施していますので、今後の要望の参考とさせていただきます。</p>	なし
2	<p>施策No. 28</p> <p>施策No. 29</p> <p>施策No. 30</p>	<p>「広域道路ネットワークの整備推進」</p> <p>「都市内幹線道路ネットワークの整備推進」</p> <p>「道路渋滞・混雑の要因となっているボトルネックの改善」</p>	<p>生活幹線道路として県道千葉大網線は、あすみが丘、あすみが丘東地区も増え、外房有料道路誉田ICまでに行く通過交通による交通渋滞が大きな問題であり改善されていない。</p> <p>県道千葉大網線のバイパスともなる渋滞解消を図る上で、最も整備が急がれないといけない都市計画道路の越智町土気町線を事業最優先にすべきと考える。</p> <p>もうすでに、あすみが丘地区内での区間が既に供用しているし、越智はなみずき台団地内の道も確保済である。都市計画道路・越智町土気町線のあすみが丘から外房有料道路までの道を早期に完成すべき。</p>	<p>道路整備に関しては、事業効果の早期発現の観点から、供用開始が近い継続事業を中心に推進しています。越智町土気町線は、緑区の重要な幹線道路であります。が、厳しい財政状況から、やむを得ず事業を休止している状況であります。</p> <p>今後、事業を再開するには円滑な事業執行ができるよう、現在、用地取得に時間を要する共有地の調査を進めています。財政危機状況は脱したものの、本市の財政状況は依然として厳しいことから、共有地調査の進捗状況やその他の路線の整備状況などを総合的に判断し、事業の再開を検討します。</p>	なし